

平成 20 年 度
構造物(テールアルメ)現況測量業務

特 記 仕 様 書

平成 2 0 年 6 月

長 野 県 道 路 公 社

構造物現況測量業務委託設計書 特記事項

1 業務箇所

路・河川名	市町村名	箇所名
(一)三才大豆島中御所線	長野市	真島町 川合

2 業務内容

	業務内容	
測量業務	別添「五輪大橋テールアルメ維持管理測量仕様書」参照 観測点は現地に設置済みで、経年変化を調べるため過年度との比較を必要とする。	別添図の有・無 ① 無
設計業務		別添図の有・無
調査業務		別添図の有・無

3 業務期間

日数 30 日間 完了期限 平成 20 年 月 日迄

4 成果品

電子納品について： 対象とします。 対象ではありません。

測量業務	図面(青焼き又は白黒コピー)を含む報告書 2 部
設計業務	設計図を含む報告書 部 設計図縮小版 部
調査業務	報告書 部

5 業務委託をするにあたっての条件等

項目	内容
	なし

技術者の配置について

主任技術者の要件は、入札公告に記載の次のとおりです。

*主任技術者の要件 ()

設計業務に該当するため照査技術者を選任すること。

照査は「詳細設計照査要領」により行い、該当する工種以外の場合は準じて行う。

6 長野県が定めた共通仕様書及び特記事項を熟読し、疑義がある場合は、入札前(予め指定された期日)迄に質問書を提出して下さい。なお、回答はホームページに掲載されます。

7 業務委託をするにあたっての条件等

五輪大橋テールアルメ維持管理測量仕様書

適用範囲 五輪大橋有料道路付近のテールアルメ壁維持管理のため、年1回主要点6点の変位量観測について適用する。

観測点 観測位置の経年変化を調べるため、観測位置を固定する必要がある。そのためテールアルメ壁頂部に金属標を埋設する。

基準点 観測点の変位を調査するため、不動点を交通の支障がない公共用地に設置し、基準点相互及び観測点の座標管理を行う。
また、沈下量の精度を確保するため水準測量を行う。

壁面観測 テールアルメ壁に変位が認められたときは、必要に応じて壁面観測を行い壁のはらみを観測する。

同上観測は、テールアルメ壁頂部より下げ振りをおろし壁面との間隔をスキン毎に中心部で観測する。

維持管理年次計画表(実績)

		変位定期観測	腐食試験	備 考
1998年		6カ所の観測断面設定	6回分試験片埋設	
1999年	(1年目)			
2000年	(2年目)			
2001年	(3年目)			
2002年	(4年目)			
2003年	(5年目)		堀出・試験	
2004年	(6年目)			
2005年	(7年目)			
2006年	(8年目)			
2007年	(9年目)			
2008年	(10年目)		堀出・試験	
2009年	(11年目)			
2010年	(12年目)			
2011年	(13年目)			
2012年	(14年目)			
2013年	(15年目)		堀出・試験	
2014年	(16年目)			
2015年	(17年目)			
2016年	(18年目)			
2017年	(19年目)			
2018年	(20年目)		堀出・試験	
2019年	(21年目)			
2020年	(22年目)			
2021年	(23年目)			
2022年	(24年目)			
2023年	(25年目)		堀出・試験	
2024年	(26年目)			
2025年	(27年目)			
2026年	(28年目)			
2027年	(29年目)			
2028年	(30年目)		堀出・試験	